令和3年度の学校評議会について

令和3年度の学校評議会は、次のとおり行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急事態宣言の延長が決定されたため、Web会議のZoomミーティングに変更して実施することになりました。

令和3年9月18日（土）午後1時から2時30

●学校評議員

兵庫県立姫路循環器病センター	診療放射線技師
神戸市立医療センター中央市民病院	臨床工学技士
三木山陽病院	視能訓練士
神戸百年記念病院	理学療法士
株式会社セラピット	作業療法士
朗源会 大隈病院	言語聴覚士

しかし、前日の台風第14号による大雨、突風のため急遽中止とさせていただきました。そのため、学校評議員の方々に対し、次の項目に対する意見を求めました。

- 学校の概要・目標及び計画
- ガバナンス
- 教育
- 学生支援
- 環境整備
- 社会貢献・地域連携
- 各学科報告書
- その他

意見の概要は、次のような内容となっており、今後の学校運営に反映させる予定です。

○学校の概要・目標及び計画

- ・ チーム医療におけるコミュニケーション能力の習得についての具体的な教育は何か。
- ・ 3学科において、入学定員の半数程度の在籍者数であることについては、対応策を講じる必要性を強く感じた。
- ・ COVID-19の影響の中、学生のモチベーション維持を高める活動は、大変だと思われる。一人でも多く地域医療に関心を持ってくれる同士が増えることを切に願う。

○ガバナンス

- ・ 医療・教育・介護・福祉・研究や14の事業所で構成される医療法人社団慈恵会の特徴や利点を活かした教育、令和4年の歯科衛生士科の新設に魅力を感じた。
- ・ コンプライアンスに関しては、学校内に向けた理念等とポリシーがどのように浸透できているか。企業では、社内に向けインナーブランディングの重要性が大事とされるように、学校のイメージを職員や学生に浸透させることで学校のブランド価値は上がっていくと思われる。

○教育

- ・ 入学した学生数に対する合格者数が国試合格率になると考える。入学する学生の学力や学習意欲の向上、教育方法の工夫が必要になると考える。在校生・卒業生に対して、相互のコミュニケーションをとれる環境がもっとあっても良いのではないか。
- ・ 高い就職率と、全国平均を超えた国家試験合格率に先生方の努力が表れていると思う。今後の課題に向け外部委託によるマーケティングを活用しながら長期的な視点で活動されていることには驚いた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響でなかなか見通しが立ちにくい情勢の中、オープンキャンパスや様々な活動で形式を変更して開催するなど、本当に色々のご苦労されてきたことと思う。高等学校訪問など各科講師の生の声を聞ける機会は他の大学には無い特色だと思うので是非、継続してほしい。課題と改善策にあったように、進学についての情報ツールの中心は、オープンキャンパスなど学校の生の雰囲気を感じることに加え、InstagramなどSNSになってきていると実感している。Instagramの投稿に関しては、学校の行事だけでなく、学生自身に学校生活を定期的に投稿してもらうなど学校の雰囲気に触れることのできる機会として取り組むこともおもしろいかと思う。

○学生支援

- ・ 面接の対応能力が、他校に比べ著しく劣ることを実感している。就職活動は実践に向けた練習の積み重ねが無いと、幅が広がらない。個人の面接技法の練習が必要と感じる。
- ・ 就職支援の対応は良いと思う。実際ひどい履歴書(志望動機)や面接試験がある。
- ・ 入学前の抗体検査の実施や奨学金制度の経済的支援の紹介・手続き。就職活動においては外部講師による就職対策講座など大変手厚い支援が受けられると思った。
- ・ ハラスメントに関する取り組みが充実している。在校生への支援だけでなく、卒業生への関わりも継続しているようなので今後も続けてほしい。
- ・ 大学進学について選択肢が多いということは、選ぶ側から大きなメリットだと思われる。もう少し全面に出しても良いと思う。

○環境整備

- ・ MR装置の設置は、大いに宣伝すべきである。学外実習については、養成校の増加で実習施設が潤沢に確保できるか不安である。
- ・ 小便器の水洗自動化。
- ・ 実践力を身に付けるために、学外実習はかなり重要だと思う。新型コロナウイルス感染症の影響により臨床実習は難しいものになっていると思うが、学内での実習への置き換えなどにより工夫され実力を身に付けられることを期待している。
- ・ 限られた範囲だとは思うが、現状の整備及びアピールで構わないと思われる。可能なら自転車通学に当たり駐車場の写真、説明があっても構わないと思う。

○社会貢献・地域連携

- ・ 「KCC健康フェスタ」や「コグニケア」、トライやるウィークの受け入れなど様々な地域貢献をしていることを初めて知った。今後オンラインでの地域貢献を検討していることは素晴らしいと思う。
- ・ 地域活動は、縮小せざるを得ない状況だが、今後も積極的に取り組んでほしい。
- ・ 学校主催だけでなく、地域でのイベントに学生や教員の方々が積極的に、参加して学校

の名前を地域の方々に覚えてもらうことも良いと思う。

○各学科報告書

- 国試対策については、合格率が高く、特に既卒者の合格率が高いのは大いに宣伝すべきである。しかし、学外実習として半日講義に行かせてもらったが、最初から机に伏せている学生を前にするとこちらのモチベーションは下がる。やはり、優秀な学生の確保は必要である。テレビドラマの影響で裾野は広がるかもしれない。就職率の数字には、非正規雇用も入っているのか？卒業率向上に対する更なる具体策は何か。
- 臨床現場は進歩しているため、実施できていない科の臨床現場への参加や、臨床に携わっている方の講義等があれば良いと思う。
- 短縮された臨床実習期間など新型コロナウイルス感染症の影響を受け大変な時期だと思うが国家試験の合格率も高く素晴らしい。国家試験対策も例年 100%を維持できるほどに取り組み、先生方の熱心さがよく伝わってきた。
- 臨床経験が少ないまま就職することになる世代になる。受け入れ側とすれば、不安が大いにあるが各学科報告での取り組みを見て工夫されていることが伝わった。
- コミュニケーションについての記述が多い印象を受ける。嚥下についても、積極的に関わるようにして行くべきだと思う。

○その他

- 先生方の普段のご努力に敬意を表します。
- 各項目それぞれ目標・現状・課題と改善策が挙げられており、自己評価はよくされている。課題と改善策の実行とその評価が今後、しっかりされることを期待する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、視能訓練士としての業務にも変化を求められている。チーム医療に求められる人材の育成に、時代に合わせた教育法を取り入れ魅力的な学校作りに真摯に取り組んでいる様子が伝わった。学生支援も手厚く保護者の立場からも安心できる学校だと思った。
- 他の学校との差別化、「売り」をどのようにしてアピールしていくかが重要と考える。特に 4 年制大学との違いはどういったものなのかを明確にしないと、専門学校の中で埋もれてしまう可能性がある。ポイントとして医療法人故に病院、施設を持っているのでそこでの積極的な臨床実習等です。